

科 目		必・選	担 当 教 員	学年・学科		単位数	授 業 形 態						
国 語 (Japanese)		必	宮本克之 和田茂俊	3 年生 電気情報工学科		3	現国通年週2時間 古典半年週2時間						
授業概要		日本語で情報を収集・選択・構成し、論理的かつ効果的に双方向コミュニケーションをとることができる。また、論理的かつ多角的な理解力、柔軟な思考・発想力、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーション能力、および主体的な表現意欲を培うことができる。											
到達目標		1、鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章の創作を通して、感受性を培うことができる。 2、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができるとともに、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得する。まあ、相手の意見を理解し、まとめることができる。 3、教材として取り上げた作品に用いられている言葉等について、現代の言葉とのつながりや時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得することができる。											
評価方法		4回の定期試験 7 0 % (古典のある半期については、現国対古典の比を 1 対 1 とする。)、提出物・小テスト・意見発表を 3 0 % として評価。 6 0 点以上を合格とする。											
教科書等		現国……『精選現代文B』(筑摩書房)、『基礎からの国語表現の実践』(京都書房)、国語辞典。 古典……『新古典名文選』(教育出版)、『用例古語辞典』(学研)。											
内 容		現 国		古 典			学習・教育目標						
第 1 週	報告 ガイダンス (スピーチの方法ほか)	第 1 週	『徒然草』	[奇談]		D	D						
第 2 週	評論 (1) 「絵画の二十世紀」	第 2 週	〃			D	D						
第 3 週	〃	第 3 週	〃	[達人]		D	D						
第 4 週	〃 表現① 文章の基礎 I	第 4 週	〃			D	D						
第 5 週	小説 (1) 「貧の意地」	第 5 週	〃	[雑感]		D	D						
第 6 週	〃	第 6 週	〃			D	D						
第 7 週	〃	第 7 週	〃	[処世]		D	D						
第 8 週	〃 表現② 感想・意見を発表する。	第 8 週	〃	前期中間試験		D	D						
第 9 週	小説 (2) 「沈黙」	第 9 週	『徒然草』	[無常]		D	D						
第 1 0 週	〃	第 1 0 週	〃			D	D						
第 1 1 週	〃 表現③ 文章の基礎Ⅱ	第 1 1 週	『枕草子』	[類想]		D	D						
第 1 2 週	〃 表現④ 意見を述べる。	第 1 2 週	〃			D	D						
第 1 3 週	詩歌「サーカス」ほか	第 1 3 週	〃	[随想]		D	D						
第 1 4 週	〃	第 1 4 週	〃			D	D						
第 1 5 週	表現⑤ 手紙の書き方	第 1 5 週	古典のまとめ	前期期末試験		D	D						
第 1 6 週	小説 (3) 「舞姫」					D							
第 1 7 週	〃					D							
第 1 8 週	〃					D							
第 1 9 週	〃					D							
第 2 0 週	〃					D							
第 2 1 週	〃					D							
第 2 2 週	〃 表現⑥ 批評を書く。					D							
第 2 3 週	〃	後期中間試験				D							
第 2 4 週	評論 (2) 「Not I, not I…」					D							
第 2 5 週	〃					D							
第 2 6 週	〃					D							
第 2 7 週	〃					D							
第 2 8 週	〃					D							
第 2 9 週	表現⑦論理的な文章を書く。					D							
第 3 0 週	現代文のまとめ	後期期末試験				D							
(特記事項) 将来の卒業研究発表等に向けて正しい文章で感想や意見を書くことや、口頭発表することを重視する。			JABEE との 関 連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習	A	A	C-1	C-2	C-3	B	B	D	C	B
			・教育目標								◎		

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。)

## (現代文)

第1週 「ガイダンス」スピーチの方法ほか。「報告」プルトップ缶の開発記事を参考に報告文を書く。

第2～第4週 評論「絵画の二十世紀」

写真と絵画の差異について述べられた評論を理解し、言語・思考能力を養うとともに、写真や絵画というメディアへの理解を深める。

※表現① 文章の基礎Ⅰ

漢字や語句などに関する演習をおこない、語彙を増やす。

第5週～第8週 小説「貧の意地」

読書習慣の形成をととして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かす。

表現② 感想・意見を発表する。

第9週～第12週 小説「沈黙」

現代を生きる青年の存在を変えた体験の意味を理解し、関係に生きる「私」についての理解をさらに深める。

表現③意見を述べる。

表現④ 文章の基礎Ⅱ 文章の基礎を学び、一文を正しく書けるようにする。

第13週～第14週 詩歌「サーカス」ほか

現代詩における言葉のはたらきや作品の特質をとらえ、どのような世界観が表現されているか理解する。

第15週 表現⑤ 手紙の書き方 礼状等、実用文の書き方を学ぶ。

第16週～第23週 小説「舞姫」

作中人物の言動や心理を的確に読み取り、上司・同僚・恋人等をめぐる人間関係の力学を考察し、われわれの欲望の発生について理解を深める。

表現⑥ 批評文を書く。

第24週～第28週 評論「Not I, not I…」

社会を形成する原動力としての「贈与」をめぐって、筆者の考えを正確に読み取り、われわれの社会を相対化する視座を獲得する。

第29週 表現⑦ 実用的な文章を書く「小論文のかたち」

文章の構成法を学び、正しい文章で論理的に自分の意見を表現する方法を身につける。

第30週 現代文のまとめ

※各時間のなかで、文章力・コミュニケーション能力の涵養のために、批評を書いたり発表したりする。また、その基礎として、言葉や漢字、文章構成法などを学ぶ。

## (古典)

第1週～第2週『徒然草』[奇談]

奇談をめぐる文章を読み、筆者のものの感じ方や考え方を学ぶ。

第3週～第4週『徒然草』[達人]

技術に優れるために身につけておくべき心構えを学ぶ。

第5週～第6週『徒然草』[雑感]

何気ない日常生活を通して筆者が発見した、真の「心遣い」について学ぶ。

第7週～第8週『徒然草』[处世]

現代にも通じる、筆者のすぐれた知恵について学ぶ。

第9週～第10週『徒然草』[無常]

筆者が生きた時代の世界観・宗教観を学ぶ

第11週～第12週『枕草子』[類想]

筆者の鋭い感性や批評眼を文章から読み取る。

第13週～第14週『枕草子』[随想]

『枕草子』の「をかし」の美学を理解する。

第15週 古典のまとめ